

証券コード：9412

株式会社スカパーJSATホールディングス



2025年3月期 第3四半期 決算説明会

2025年2月6日開催

将来の見通しに関する記述

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。

これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

事業全般

- 事業投資等に関するリスク
- 事業上の法的規制等に関するリスク
- 個人情報及び重要情報の流出や取扱い及びサイバーセキュリティに関するリスク
- 大規模災害、新型感染症等による事業継続に関するリスク

宇宙事業

- 衛星通信市場における競争力低下のリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 通信衛星の運用に関するリスク

メディア事業

- 有料多チャンネル事業の事業性低下に関するリスク
- 不正視聴に関するリスク
- 顧客管理システムに関するリスク

2025年3月期 第3四半期連結業績概要

3Q累計連結純利益は144億円、期初予想180億円に対し進捗率は80%

*以下、「親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益」を「連結純利益」と記載しております。

**3Qまでの順調な進捗を受け、
通期の営業利益を280億円、連結純利益190億円に上方修正
上場来最高益を見込む**

**持続的な成長に向けた積極的な投資と株主還元のバランスを総合的に勘案し、
期末配当を11円から5円増配し、16円に引き上げ
（年間配当額の予想を27円に修正）**

*配当額は一株あたり

連結業績概況

- 営業収益、営業利益、連結純利益は全て前年同期比プラスで着地
- 3Qまでの順調な業績進捗を受け、通期業績予想を増収増益に上方修正

(億円)	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減 (増減率)	2024年度 通期業績予想 (期初)	進捗率 (対期初予想)	2024年度 通期業績予想 (修正)
営業収益	910	919	+8 (+0.9%)	1,233	74.5%	1,240
営業利益	205	213	+7 (+3.6%)	258	82.5%	280
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	134	144	+10 (+7.7%)	180	80.0%	190
EBITDA*	363	366	+3 (+0.9%)	460	79.5%	476

*EBITDA = 純利益 + 税金費用 + 減価償却費 + のれん償却費 + 支払利息

- 成長分野であるスペースインテリジェンス事業の成長と円安効果により4K放送終了等に伴う減収幅を縮小
- 北米での基盤強化と新領域Orbital Lasers事業化に向けた費用投下を継続
- 一過性損失の影響等で持分法投資損失5億円を計上も、
通期では営業利益は増益、セグメント利益は期初通りの151億円を予想

(億円)	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減	2024年度 通期業績予想 (期初)	進捗率 (対期初予想)	2024年度 通期業績予想 (修正)	増減要因
営業収益*	476	472	△4	650	72.6%	650	(営業収益) スペースインテリジェンス事業+11 (画像販売増加等) グローバル・モバイル分野+7 放送トラポン収入△21
営業費用	306	310	+4	-	-	-	(営業費用) 北米子会社費用 (Horizons-4事業開始等に伴う営業費用) +7 Orbital Lasers費用+3 減価償却費△1
営業利益*	170	161	△9	217	74.4%	228	
セグメント利益**	116	108	△8	151	71.6%	151	(その他) 持分法投資損益△5

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

セグメント別業績概況：メディア事業



- 視聴料収入等は減少するも、FTTH、その他放送外コンテンツ収入が増加
- オペレーションの効率化により営業利益は大きく伸長
- 通期では増収増益でセグメント利益44億円を予想

(億円)	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	増減	2024年度 通期業績予想 (期初)	進捗率 (対期初予想)	2024年度 通期業績予想 (修正)	増減要因
営業収益*	505	496	△9	649	76.4%	655	(営業収益) 視聴料・業務手数料・基本料収入△17 FTTH収入+2 放送外コンテンツ収入(トークイベント、アニメ等) +5
営業費用	464	439	△25	-	-	-	(営業費用) デジタルシフト、減価償却費等△14 コンテンツ費△4 衛星回線料等△18 新規サービス関連費用(CTV、Web3等) +5
営業利益*	41	57	+16	48	119.1%	61	(その他) 前年同期における投資有価証券評価損の反動+8
セグメント利益**	21	40	+19	33	122.2%	44	

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

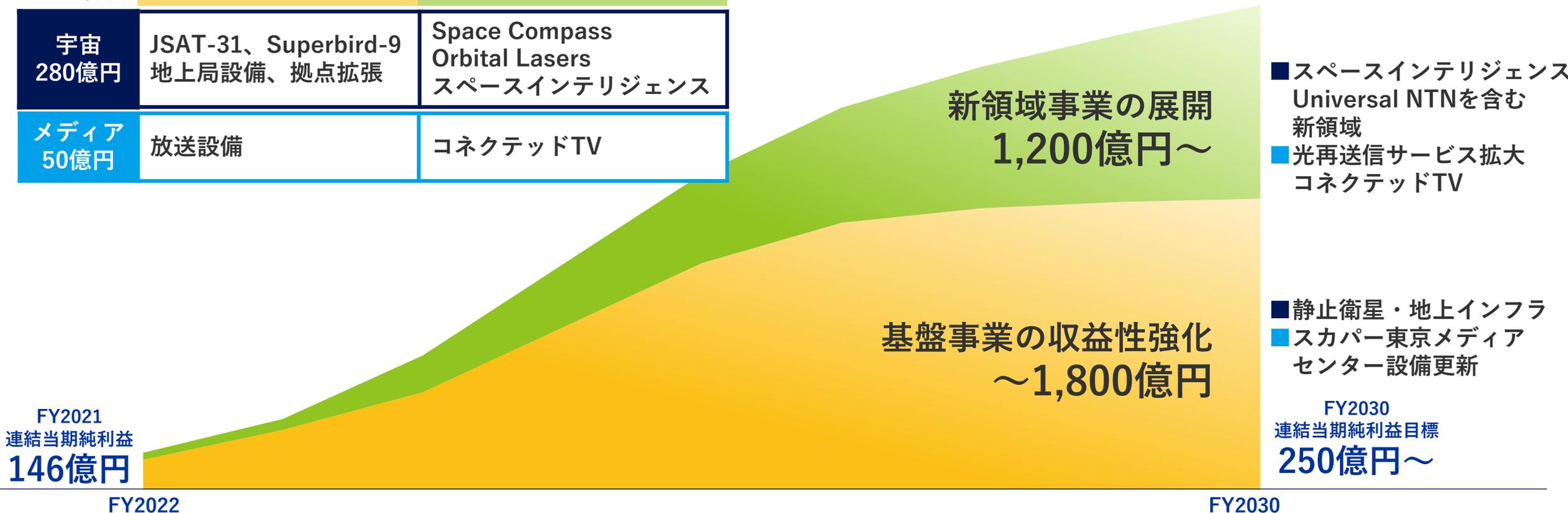
成長投資の進捗

- 2024年下期も積極的に投資を推進（3Q累積実績 225億円）
- 自社保有の低軌道地球観測衛星コンステレーション構築に向けて約400億円の投資を決定

FY2024投資計画

330億円	基盤	新領域
宇宙 280億円	JSAT-31、Superbird-9 地上局設備、拠点拡張	Space Compass Orbital Lasers スペースインテリジェンス
メディア 50億円	放送設備	コネクテッドTV

FY2022～FY2030投資累計
3,000億円



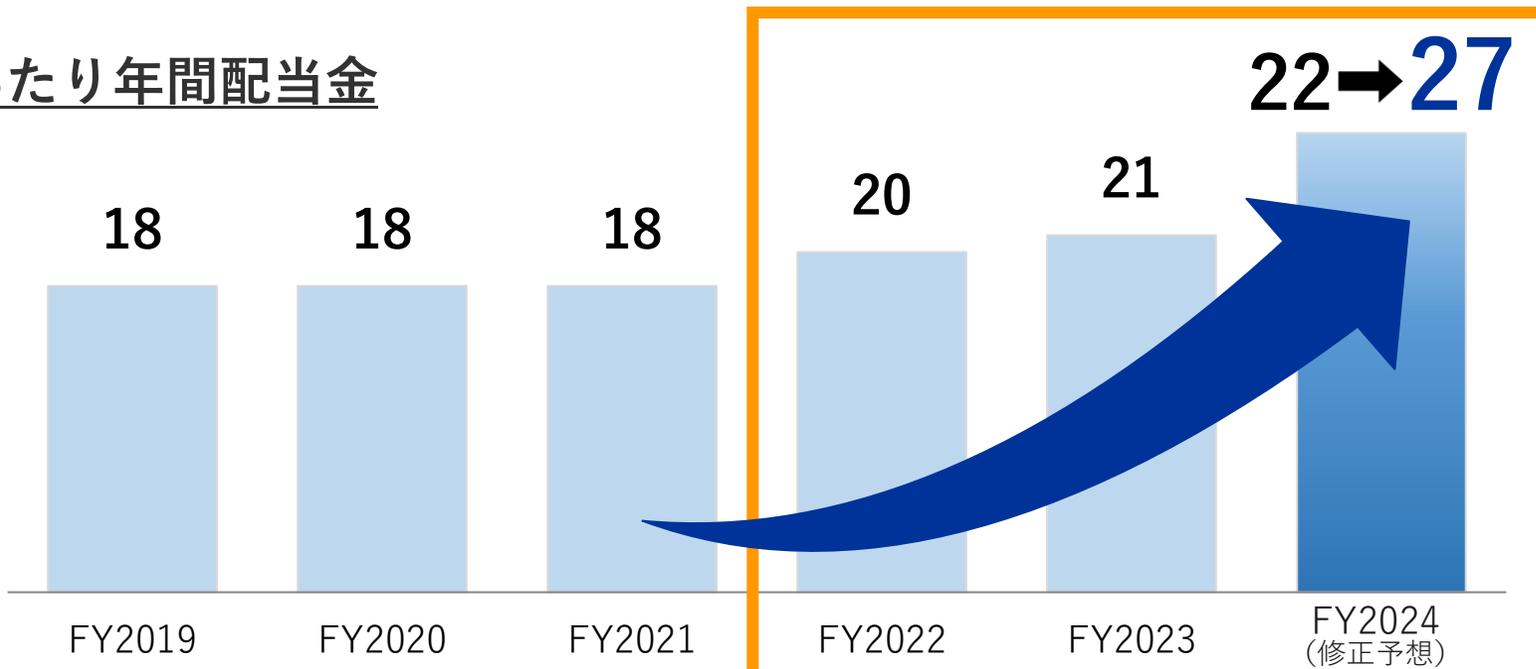
*上記投資累計図はFY2023までは実績値

株主還元

- 期末配当予想を期初予想から5円増配し、16円に引き上げ（1株あたり年間22円から27円に）
- 2022年度から2024年度の3年間の株主還元は、**累計245億円**を見込む

1株あたり年間配当金

(円)



株主還元方針

(2022年4月28日公表)

FY2022～FY2026の5年間で株主還元400億円配当に加え、機動的に自己株式取得を行う

(億円)

	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024 (修正予想)
配当金総額	53	53	53	58	60	77
自己株式取得額	—	—	30	—	50	—
合計	53	53	83	58	110	77
2022年度以降累計				58	168	245

2030年にむけて

宇宙事業ビジョン

すべての空間を対象とした革新的な通信ネットワーク及び地球規模のデータ収集ネットワークを構築し、超スマート社会の実現に貢献する



2030年セグメント
利益目標

210億円

安全保障

防災

スマート
シティ

スマート
農業

自動運転

その他
第1-3産業

政府

自治体

建設

農業

運輸

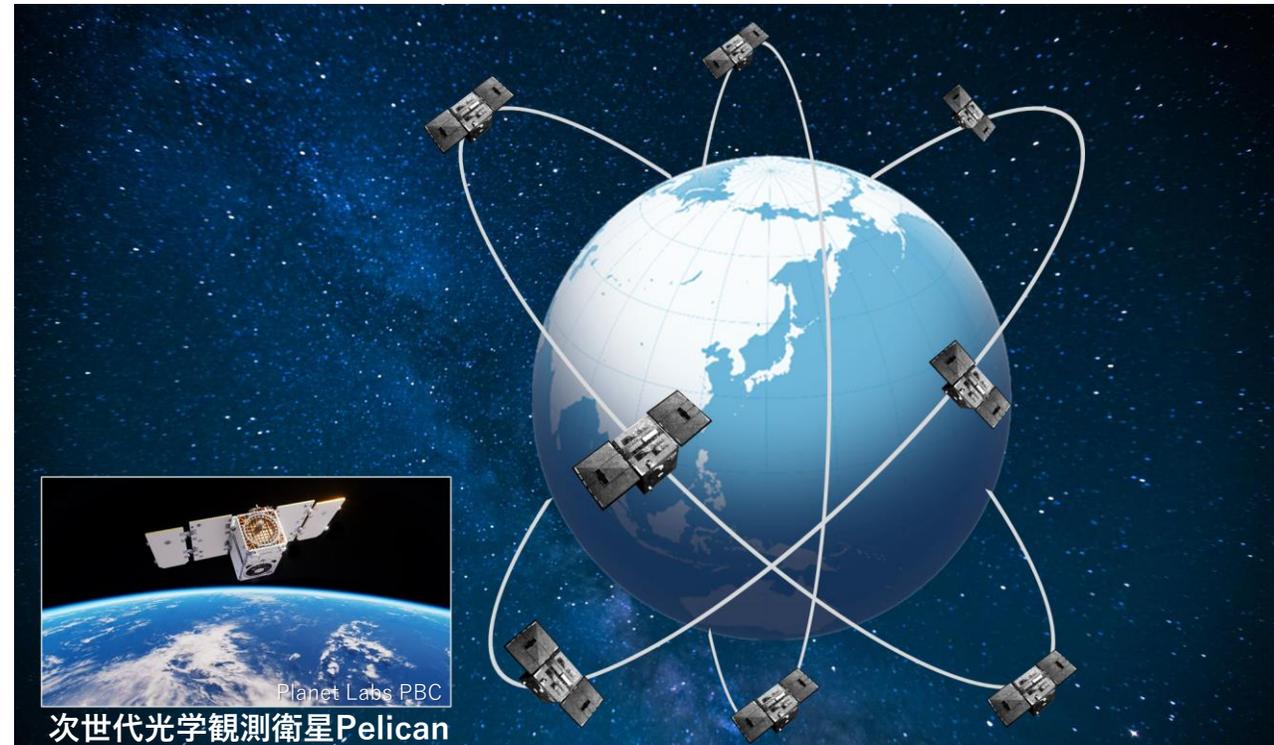
医療

衛星コンステレーションの自社構築・保有に向け約400億円の投資を決定

- 通信から非通信へビジネスフィールドを拡大
- 世界最高水準の30cm解像度を誇る次世代光学観測衛星10機をPlanet社より調達
- 高精細な衛星データの活用により、安全保障ニーズに対応、さらに民間市場開拓を加速



スペースインテリジェンス事業の収益拡大



宇宙ビジネス共創に向けたスタートアップ企業との連携

通信関連事業

開拓領域

スペースインテリジェンス事業

“宇宙から不動産取引を創造する” Penetratorと業務提携

- 不動産仲介データサービスの精度向上と販売連携
- 不動産業界における課題を宇宙から解決



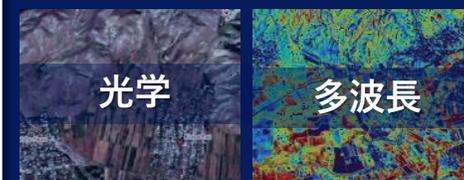
不動産仲介データサービス「WHERE」の画面イメージ

超小型衛星の開発に強い アークエッジ・スペースへ出資・業務提携

- 低軌道衛星管制業務及び地上局利用における連携
- 超小型衛星ミッションを活用した事業の連携

アークエッジ・スペースの衛星開発分野

衛星リモートセンシング



通信



位置情報



月・深宇宙



メディア事業ビジョン

人と人、企業、社会をつなぐプラットフォームとして
多様で創造性豊かな社会の実現に貢献する

「放送 + 配信 + リアル/バーチャル」でファンの体験を拡張

光アライアンス

光再送信 / CATVパススルー

ライブ・録画 / 基幹商品

放送

多様なコンテンツ
(スポーツ&エンタメ)

イベント・グッズ
/ web3

**リアル
/バーチャル体験**

ライブ・VOD
ジャンル商品

配信

リアル
/バーチャル



ファン

コネクテッドTV

ドングル / 広告PF構築

**メディア
ソリューション**

メディアHUBクラウド / 統合マスター
/ コンテンツデータベース

コールセンター

東京メディアセンター

事業基盤

2030年
セグメント
利益目標

50億円



- 「U30初めて割キャンペーン」を継続
若年層獲得を狙う
- プロ野球セットアプリ 開幕にあわせてリニューアル予定
ライブ配信もスケジュールも選手名鑑も、
このアプリ1つでOK！

[ホーム画面]

好きな球団・選手をカスタマイズ表示可能
試合日程・結果、選手成績ランキングを集約

[プレイヤー画面]

試合視聴中も選手情報の確認が可能
順位・成績などの関連データも大幅拡充

プロ野球セットアプリ
[ホーム画面] [プレイヤー画面]



放送外コンテンツ収入の拡大 リアルイベントの実施

- クリエーター連携大型トークショー
「ザ・シークレットショー」11月2日(土)実施
 - ・ 放送・配信以外のイベントの可能性を開拓
 - ・ 人気YouTuberナオキマンと芸人シークエンスはやともがイベント出演・企画
 - ・ 有明アリーナ2回公演とも完売、合計約3万人を動員

- 放送連動イベント
「真中満が行く！～12.18 伝説ライブ in 赤坂～」

- ・ スポーツライブ+で放送中のプロ野球関連番組「真中満が行く！」の関連イベントを開催
- ・ イベント自体の魅力を高めることで番組ロイヤリティ向上にも寄与



スカパー！プラス ネットスティック 先行サービス提供中

- 当社サービス契約者及びパートナー会社のお客様に先行サービスを提供中
- 本格展開に向けてモニター利用調査結果と利用状況を検証中



※「スカパー！+ ネットスティック」モニター参加者向け調査／2024年11月実施

衛星放送による条件不利地域への地上波代替に向けた取り組み

総務省の「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」にて「地上波代替における衛星放送の活用」を検討中

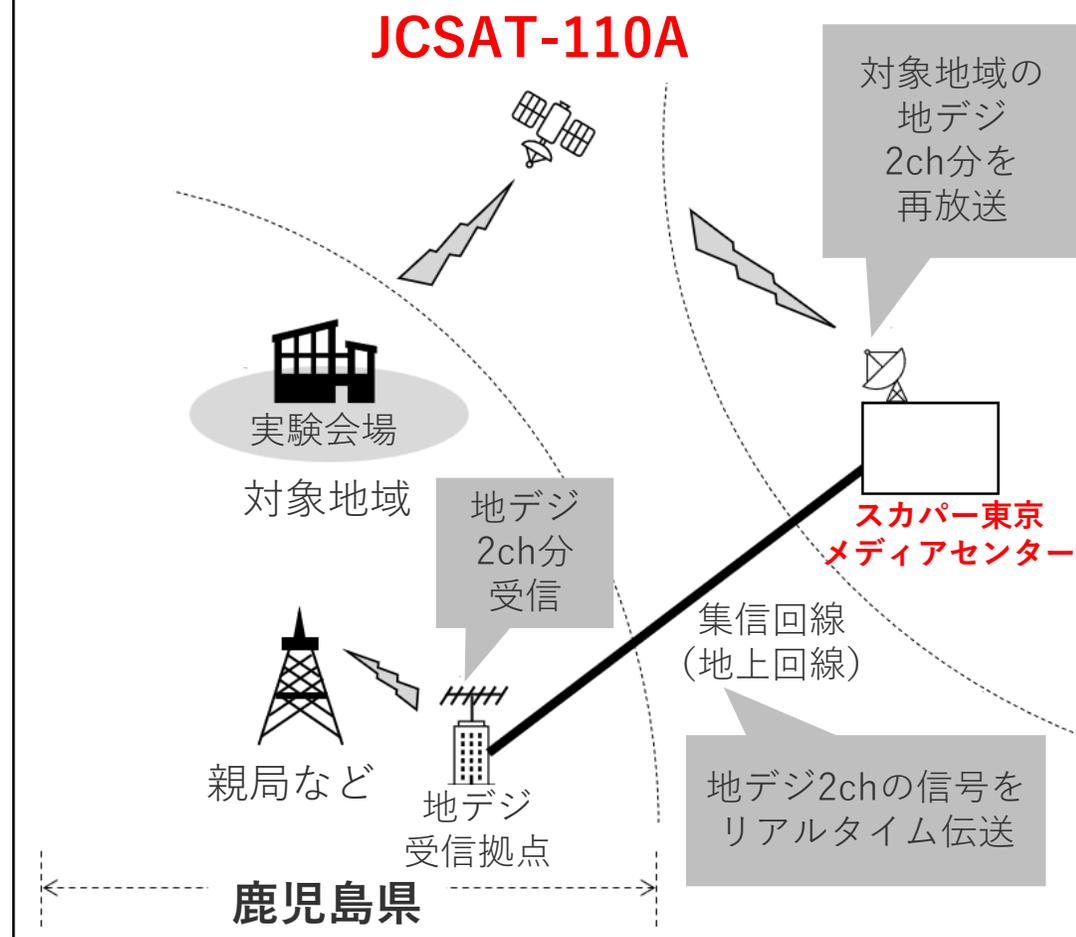
総務省の令和6年度実証事業請負業務をエヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ(株)が落札
スカパーJSAT(株)は、同社より送出・実験サポート業務等を受託し参画中

鹿児島県の地デジ放送（2ch分）をスカパー東京メディアセンターに伝送し、JCSAT-110Aの左旋空き帯域にアップリンクして、対象地域での視聴検証を行う

地上波代替における
衛星放送活用の検討を推進

110度CSによる再送信実証実験の概要

実証期間：2025年2月



既存アセットを活用したメディアソリューションサービスの展開

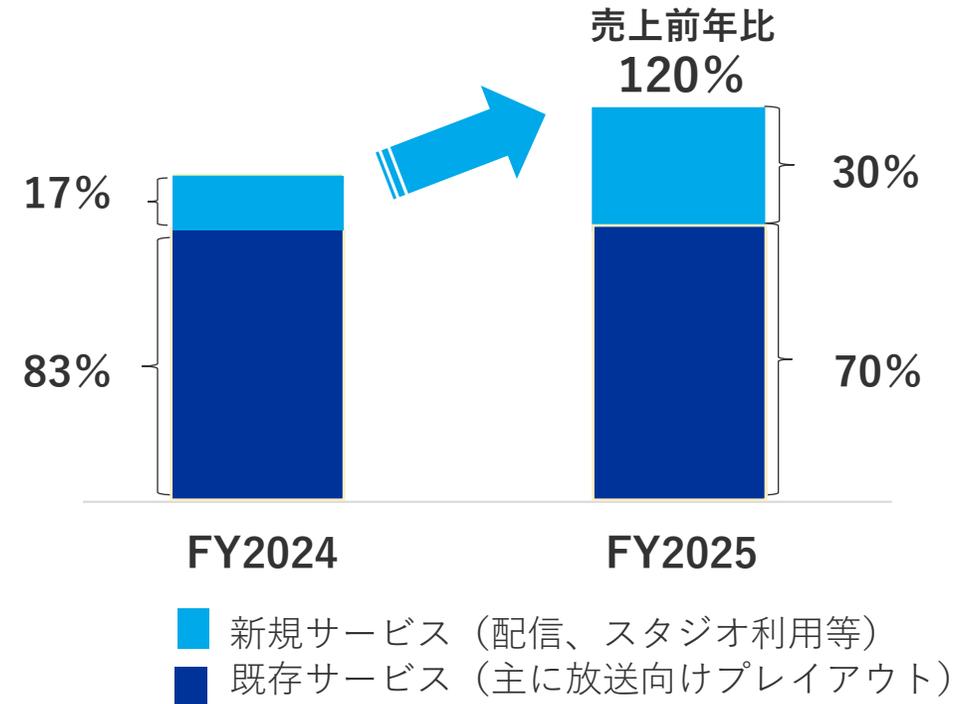
MEDIA

メディア
ソリューション

- スカパー東京メディアセンターのアセットやノウハウを活かし、お客様の抱える映像に関する課題解決や新たなサービス提供を支援するソリューション



メディアソリューションサービス売上見通し
(既存サービス/新規サービス)



■ 概要

100%子会社であったSPCCの株式を、
(株)ベルシステム24ホールディングス（ベルシステム24）へ
2025年1月1日に一部譲渡し、合併会社化



■ 合併会社化の目的

労働人口減少等による今後のビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）分野での
ビジネス拡大に向け、生成AIを活用したハイブリッド型コンタクトセンターを早期に実現

■ 今後の展望

SPCCの実績に、ベルシステム24のメソッド・リソースを掛け合わせ、以下を実現

- ・ お客様に提供するサービス品質の向上
- ・ 「スカパー！」カスタマーセンター運営の効率化推進
- ・ 外販事業拡大、人財強化

未知の大陸、生物、物質。
進化の歴史とは、未知との遭遇の歴史だ。
未知へひとたび飛びこめば、
想像をこえた景色が広がっている。
好奇心にあふれた仲間が集まる。
努力を、努力と忘れてしまう場所。
私たちが魅入られた未知は、宇宙。
誰かを笑顔にする、誰かの安全を守る、
新たな価値を見出してきた。
そしてまだ1%も探れていない。
残りの99%、
この地上から宇宙へ広がる空間で、
世界が驚くビジネスを。
見たこともないエンターテインメントを。
人工衛星たちと共に。

未知を、 価値に。

宇宙実業社

スカパーJ SAT

参考資料

各事業の内容については
「スカパー」SATガイド」をご覧ください

https://www.skyperfectjsat.space/ir/files/pdf/373d308becf34287ac6baecc80a566bd_4.pdf

セグメント別2024年度通期業績予想修正

(百万円)

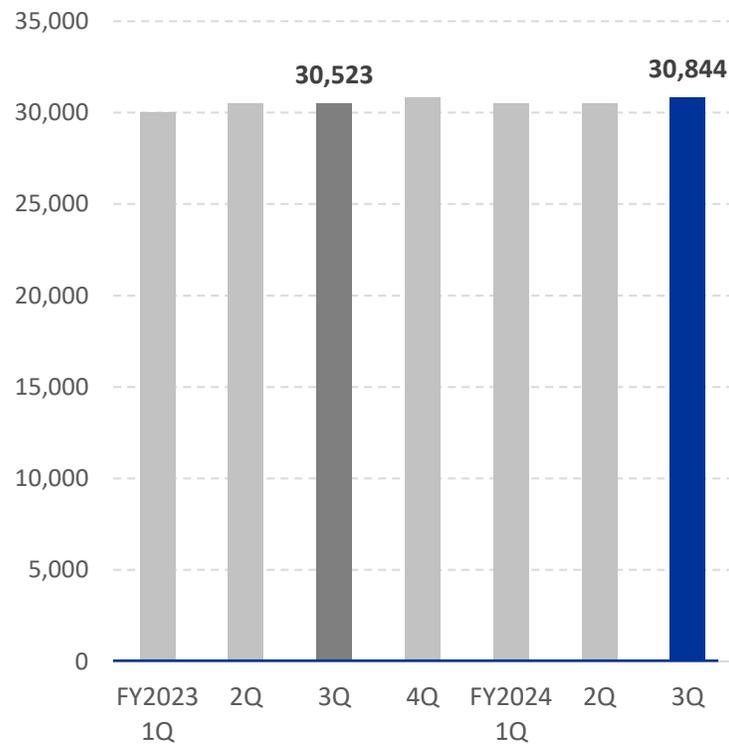
	2024年度 通期業績予想 (2024年4月26日発表)				2024年度 通期業績予想 (今回発表)			
	宇宙 事業	メディア 事業	消去又は 全社	連結 合計	宇宙 事業	メディア 事業	消去又は 全社	連結 合計
営業収益	65,000	64,900	△6,600	123,300	65,000 (±0)	65,500 (+600)	△6,500 (+100)	124,000 (+700)
営業利益	21,700	4,800	△700	25,800	22,800 (+1,100)	6,100 (+1,300)	△900 (△200)	28,000 (+2,200)
セグメント 利益	15,100	3,300	△400	18,000	15,100 (±0)	4,400 (+1,100)	△500 (△100)	19,000 (+1,000)

() 内は増減額

連結業績推移 (FY2023 1Q - FY2024 3Q)

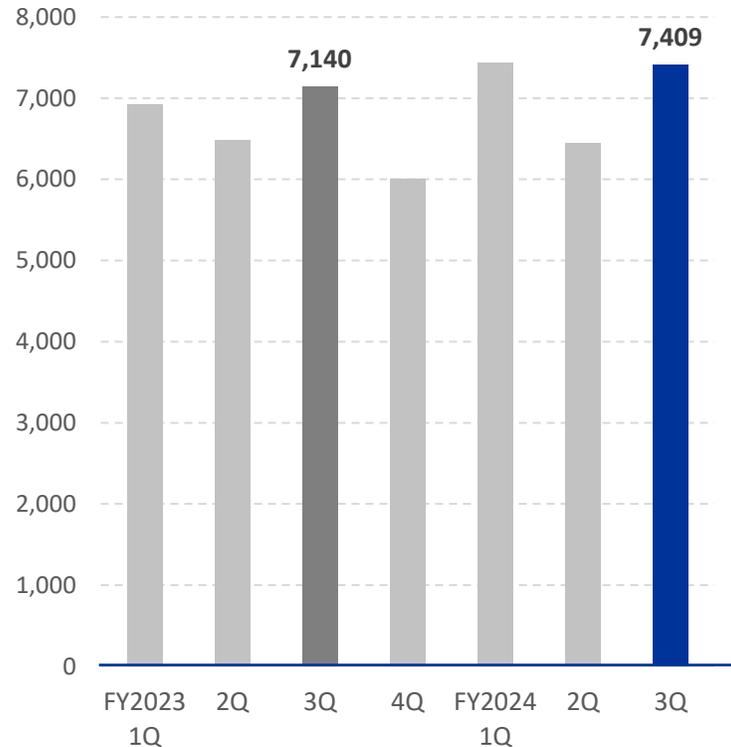
営業収益

(百万円)



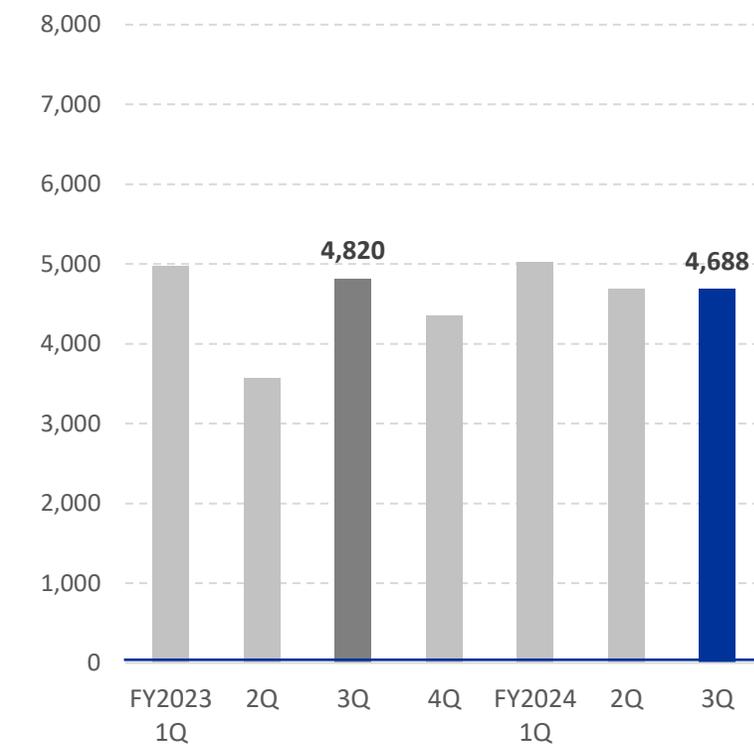
営業利益

(百万円)



連結純利益

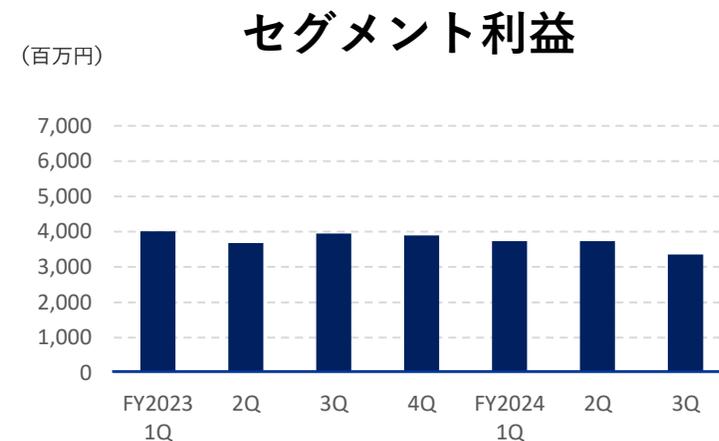
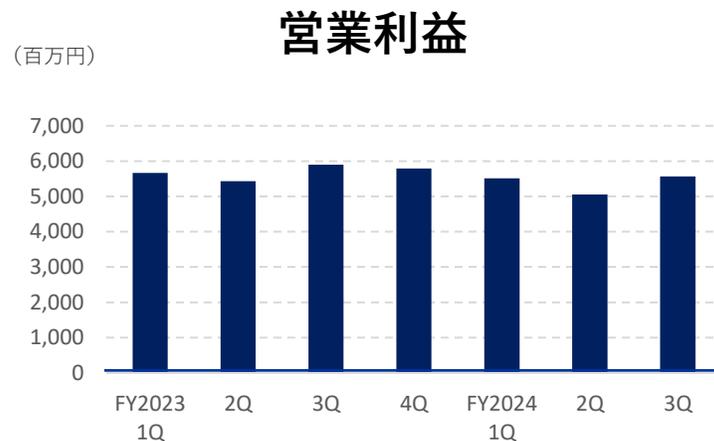
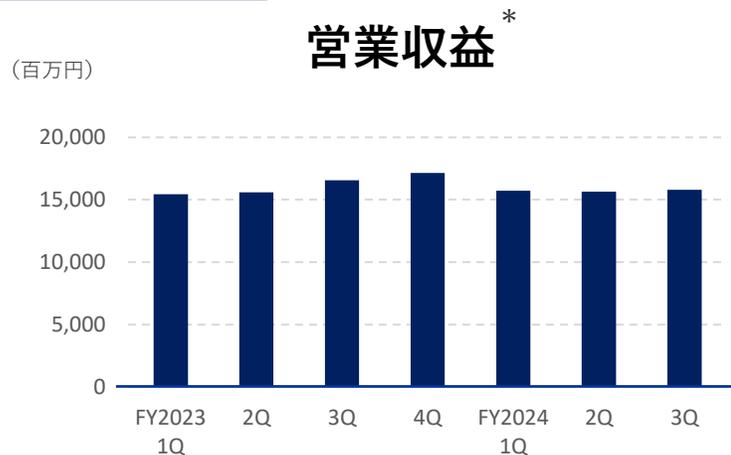
(百万円)



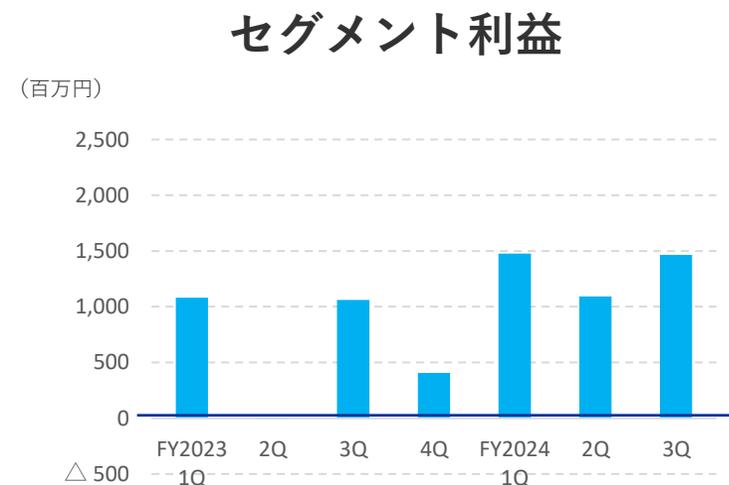
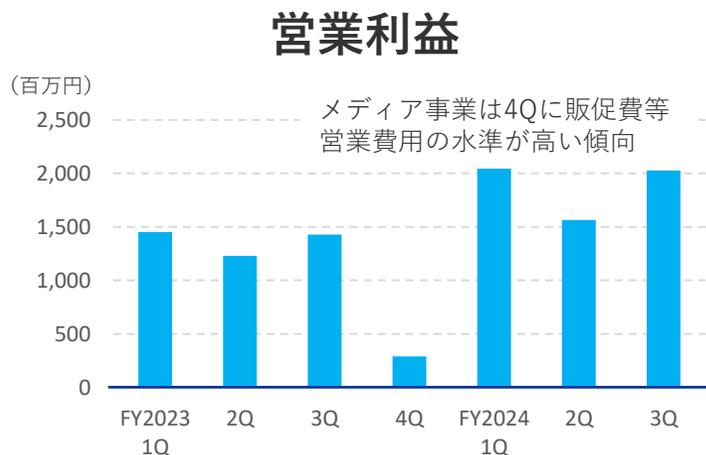
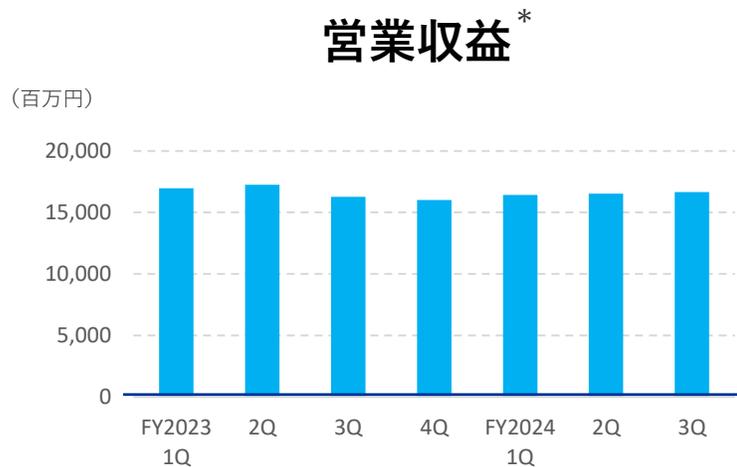
セグメント別四半期業績 (FY2023 1Q - FY2024 3Q)

宇宙事業

* 各数値はセグメント間の内部取引を含む。



メディア事業



セグメント別四半期業績 (FY2023 1Q - FY2024 4Q (見込み))

(百万円)	FY2023					FY2024				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q (見込み)	通期 (修正予想)
営業収益	30,009	30,488	30,523	30,850	121,872	30,490	30,525	30,844	32,140	124,000
宇宙事業	15,445	15,593	16,563	17,146	64,749	15,725	15,639	15,795	17,839	65,000
メディア事業	16,965	17,265	16,284	16,013	66,528	16,431	16,524	16,653	15,890	65,500
消去又は全社	△2,401	△2,370	△2,324	△2,309	△9,405	△1,666	△1,639	△1,605	△1,590	△ 6,500
営業利益	6,919	6,482	7,140	6,003	26,545	7,433	6,442	7,409	6,715	28,000
宇宙事業	5,670	5,433	5,902	5,792	22,798	5,516	5,057	5,569	6,657	22,800
メディア事業	1,453	1,231	1,428	290	4,402	2,124	1,564	2,029	383	6,100
消去又は全社	△203	△181	△190	△78	△655	△207	△ 179	△ 188	△325	△ 900
セグメント利益 (親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益)	4,982	3,573	4,820	4,362	17,739	5,028	4,687	4,688	4,596	19,000
宇宙事業	4,008	3,680	3,949	3,893	15,532	3,728	3,736	3,352	4,282	15,100
メディア事業	1,081	△1	1,061	406	2,548	1,475	1,093	1,466	366	4,400
消去又は全社	△107	△105	△190	62	△341	△175	△ 142	△ 129	△ 52	△ 500

セグメント別前年同期比較

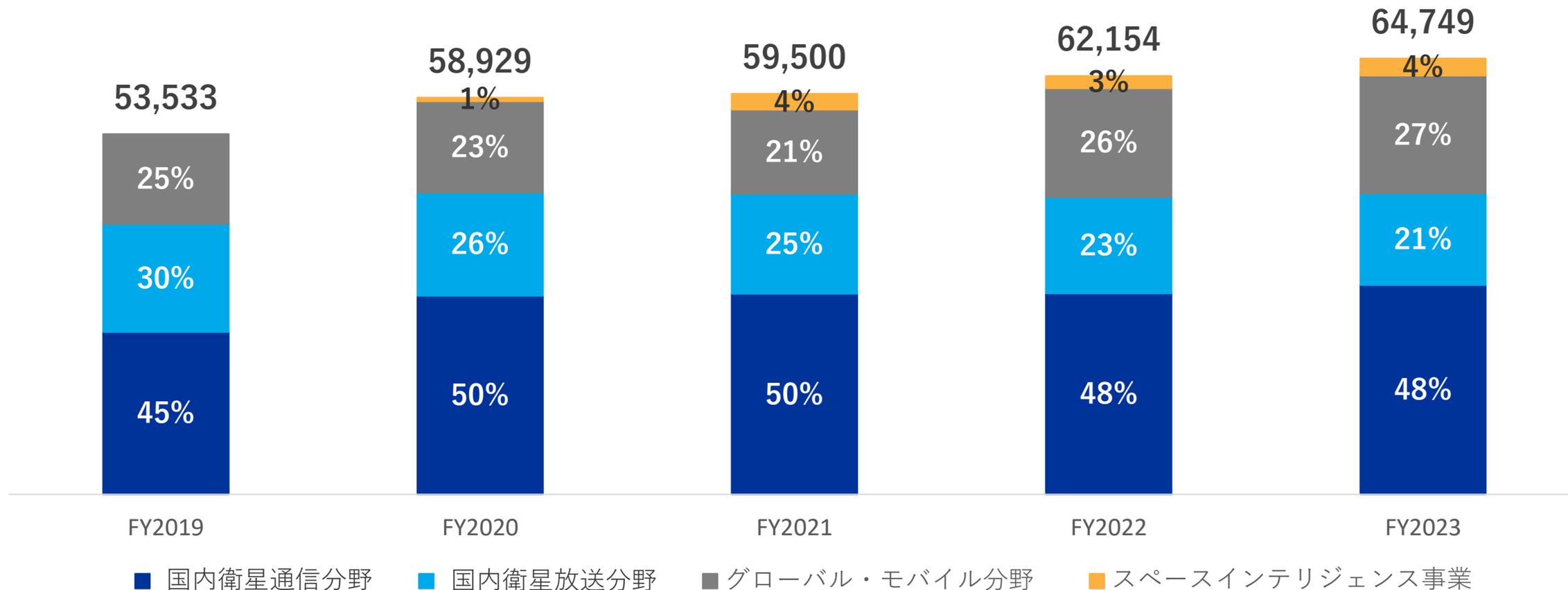
(億円)	FY2024 3Q (前年同期比)		FY2024 3Q累計 (前年同期比)		主な増減要因	3Q	3Q累計	
宇宙事業	営業収益*	158	(△8)	472	(△4)	スペースインテリジェンス事業 画像販売増加等	+2	+11
						グローバル・モバイル	△1	+7
						放送トラポン収入	△7	△21
	営業費用	102	(△5)	310	(+4)	北米子会社費用 (Horizons-4事業開始等に伴う営業費用)	+2	+7
						Orbital Lasers費用	+1	+3
						減価償却費	△4	△1
営業利益*	56	(△3)	161	(△9)				
セグメント利益**	34	(△4)	108	(△8)	(その他) 持分法投資損益	△4	△5	
メディア事業	営業収益*	167	(+4)	496	(△9)	視聴料・業務手数料・基本料収入	△6	△17
						FTTH収入	+1	+2
						放送外コンテンツ収入 (トークイベント、アニメ等)	+6	+5
	営業費用	146	(△2)	439	(△25)	デジタルシフト、減価償却費等	△5	△14
						コンテンツ費	0	△4
						衛星回線料等	△6	△18
						新規サービス関連費用 (CTV、Web3等)	+4	+5
	営業利益*	20	(+6)	57	(+16)			
セグメント利益**	15	(+4)	40	(+19)	(その他) 前年2Qにおける投資有価証券評価損の反動	-	+8	

*セグメント間の内部取引を含む

**セグメント利益は「純利益」ベースの数値

宇宙事業 営業収益構成比

(百万円)



※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

※2021年度の構成比は、画像販売収入の一部を国内からスペースインテリジェンス事業に組み替えて再計算

※2025年3月期第1四半期より「新規事業領域」の名称を「スペースインテリジェンス事業」に変更

10年連結業績データ (FY2013 - FY2023)

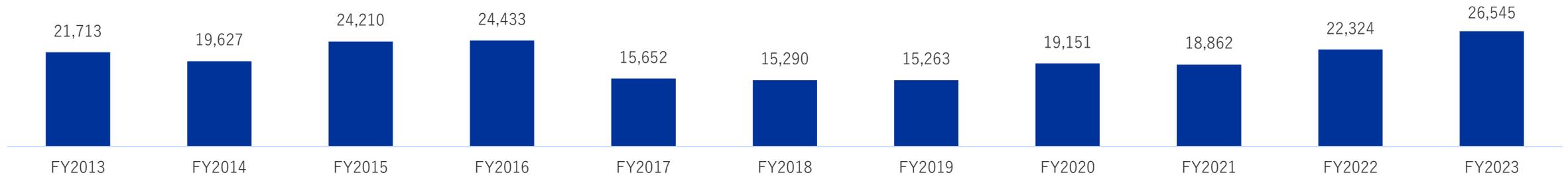
営業収益※

※2021年度から収益認識に関する会計基準等を適用

(百万円)



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益

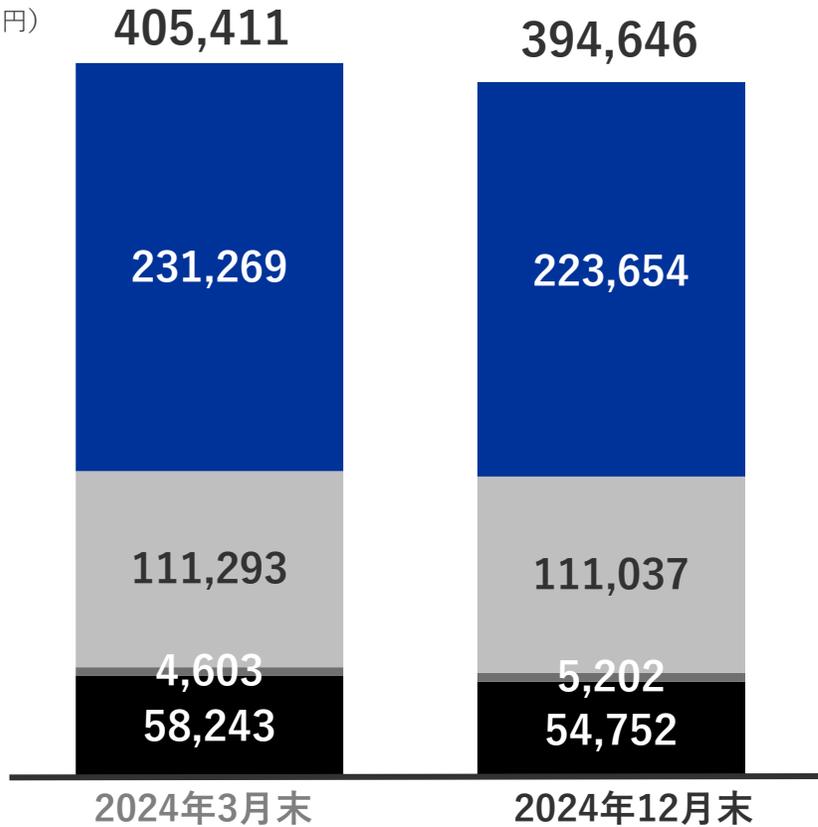


2016年度及び2018年度に防衛省向け通信衛星売却の影響を含む

連結貸借対照表

資 産

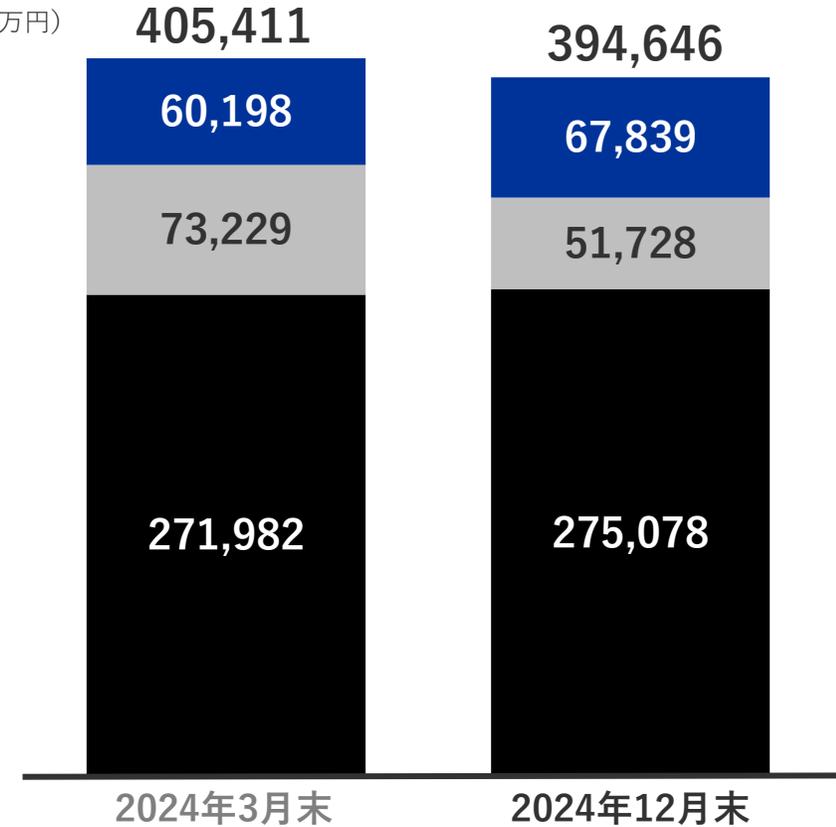
(百万円)



負債・純資産

自己資本比率： 66.7% → 69.1%

(百万円)



流動資産

有形固定資産

無形固定資産

投資その他資産

流動負債

固定負債

純資産

連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,269	36,595
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,755	△18,332
フリー・キャッシュフロー (*1)	14,514	18,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	△20,409	△15,816
現金及び現金同等物の四半期末残高(a)	102,839	116,776
有利子負債四半期末残高 (*2) (b)	65,870	56,309
純有利子負債四半期末残高 (b) – (a)	△36,968	△60,466

*1. 営業活動によるキャッシュフロー+投資活動によるキャッシュフロー

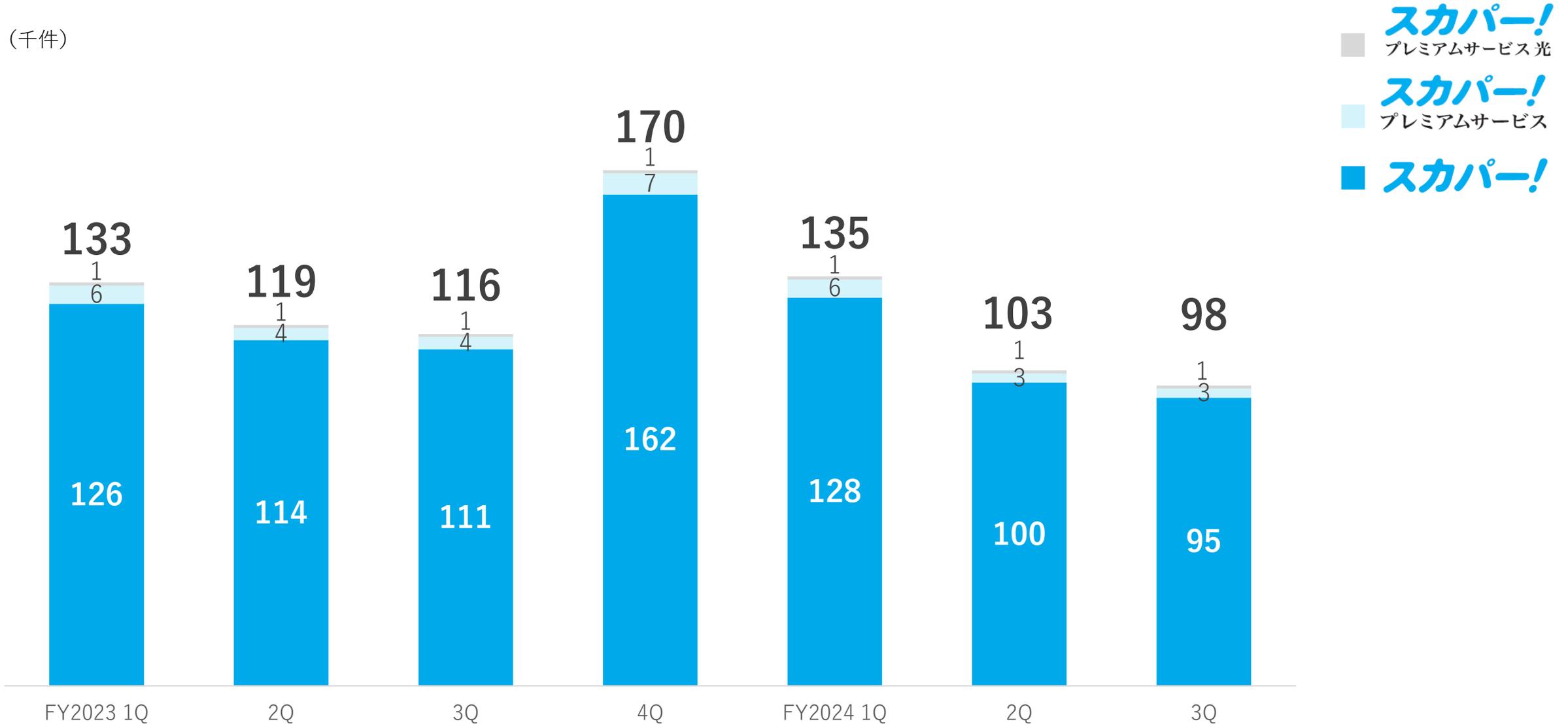
*2. 借入金+無担保社債

主要指標（メディア事業）

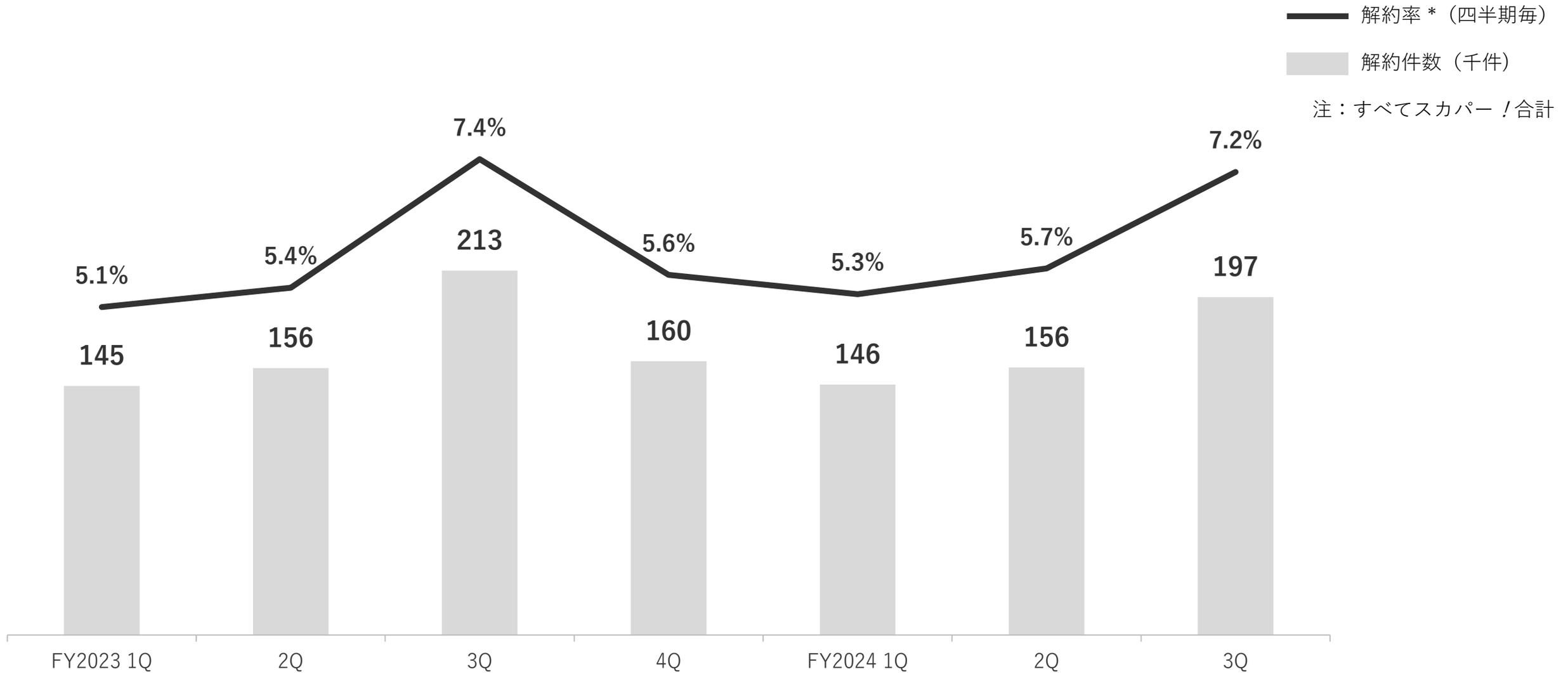
	2023年度 3Q累計	2024年度 3Q累計	2024年度 加入目標
新規（IC数：万件）	36.8	33.6	51.1
純増数（IC数：万件）	△14.5	△16.3	△15.0
（スカパー！）	（△9.7）	（△11.7）	（△8.7）
（スカパー！プレミアムサービス）	（△4.6）	（△4.5）	（△5.9）
（スカパー！プレミアムサービス光）	（△0.3）	（△0.2）	（△0.5）
累計加入件数（IC数：万件）	273.0	257.8	259.1
累計契約者数（契約者数：万件）	212.1	198.2	199.6
光再送信サービス接続世帯数（万件）	271.1	282.9	283.3
契約者月額支払単価（円）			
スカパー！	3,352	3,391	-
スカパー！プレミアムサービス	3,510	3,519	-
スカパー！プレミアムサービス光	5,000	4,958	-

新規加入件数の推移（IC数）

(千件)

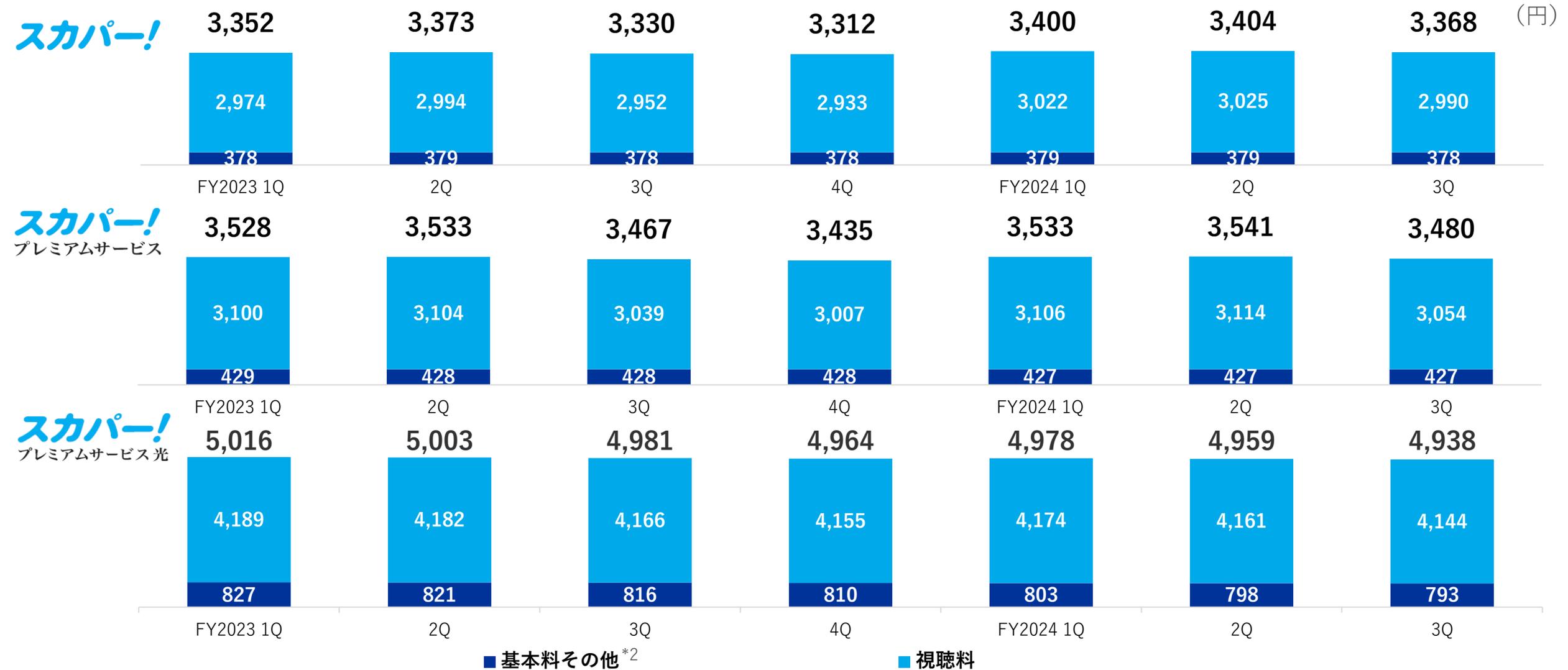


解約率の推移 (IC数)



* 各四半期の解約件数合計を前年度末の累計加入件数で除した率を表示しております。

契約者支払単価*1



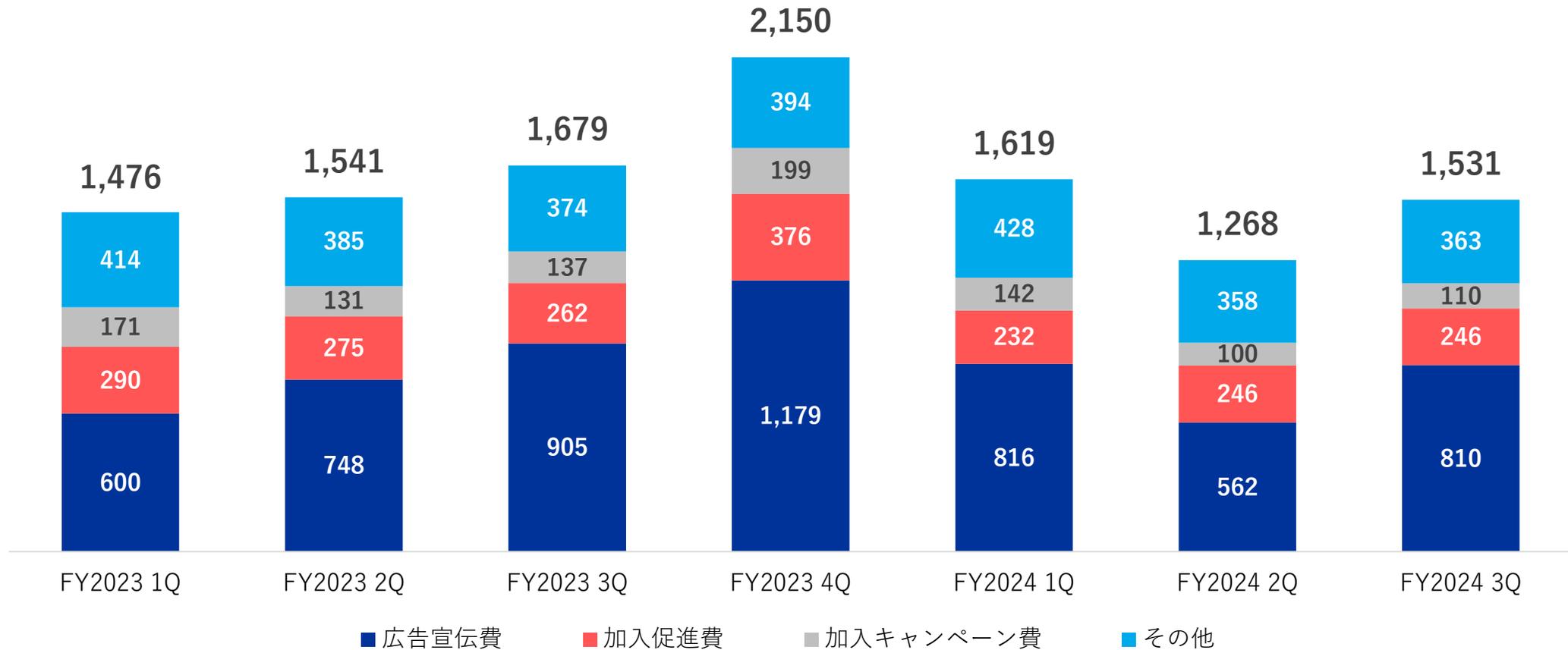
*1 契約者が支払う月額視聴料等の平均単価。月額単価は「契約者」単位で算出しております。

契約者が支払う視聴料のうち、スカパー!では約30%を業務手数料、スカパー!プレミアムサービス、およびスカパー!プレミアムサービス光では、番組供給料を控除した約50%を視聴料収入として収益認識しております。

*2 基本料及びセットトップボックスレンタル料

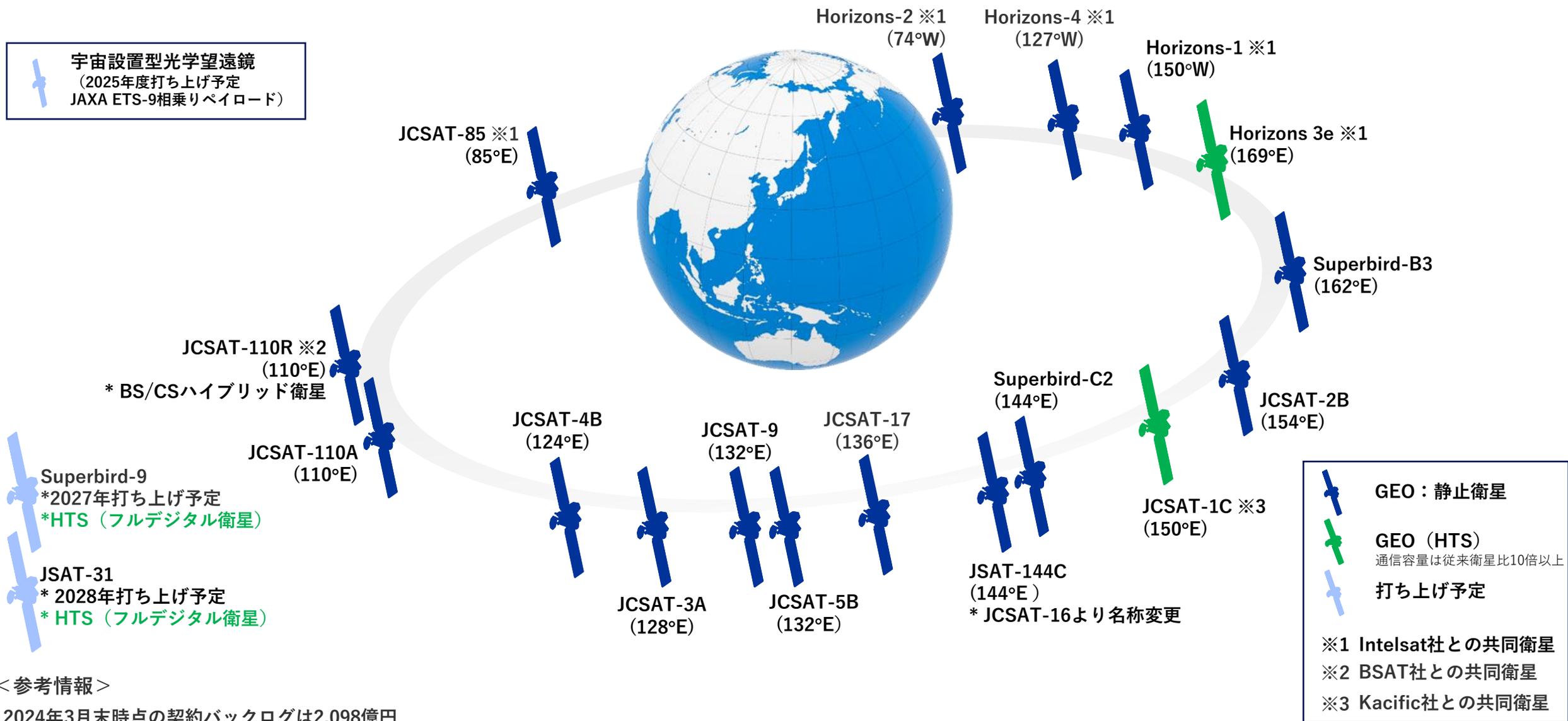
顧客獲得費用総額 (SAC)

(百万円)



- 広告宣伝費：各種媒体での広告宣伝費用
- 加入促進費：スカパー！加入促進のための費用(パンフレットや会場販促)、販売インセンティブ
- 加入キャンペーン費：新規加入キャンペーン費用(アンテナサポート等)
- その他：加入獲得にかかるカスタマーセンター運営費用等

北米上空からインド洋上空まで 計17機 の衛星を保有



< 参考情報 >

・ 2024年3月末時点の契約バックログは2,098億円

保有衛星：静止軌道衛星（GEO）17機

衛星	軌道位置	衛星バス	打ち上げ年月日 (JST)	打ち上げロケット	主要なカバーエリア・搭載ビーム	主な利用用途
Horizons-1	※1 西経150度	Boeing 601HP	2003年10月1日	Zenit-3SL (Sea Launch)	Ku: 北太平洋、北米	通信
JCSAT-9	東経132度	Lockheed A2100AX	2006年4月13日	Zenit-3SL (Sea Launch)	Ku: ー C: ー	通信
JCSAT-3A	東経128度	Lockheed A2100AX	2006年8月12日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 日本、アジア C: アジア、ハワイ、ロシア	通信/放送
Horizons-2	※1 西経74度	Orbital STAR2	2007年12月22日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 北米	通信
Superbird-C2	東経144度	MELCO DS2000	2008年8月15日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 日本、アジア、可動ビーム	通信
JCSAT-5B	東経132度	Lockheed A2100AX	2009年8月22日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 日本 C: アジア、ハワイ、ロシア東部	通信
JCSAT-85	※1 東経85度	Orbital STAR2	2009年12月1日	Zenit-3SL (Sea Launch)	Ku: West IOR, East IOR	通信
JCSAT-110R	※2 東経110度	Lockheed A2100AX	2011年8月7日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 日本	放送
JCSAT-4B	東経124度	Lockheed A2100AX	2012年5月16日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 日本、東南アジア、2つの可動ビーム	通信/放送
JCSAT-2B	東経154度	SSL1300	2016年5月6日	Falcon 9 (SpaceX)	Ku: 日本、アジア、パシフィック C: ロシア、アジア、オセアニア、グローバル	通信
JSAT-144C	東経144度	SSL1300	2016年8月14日	Falcon 9 (SpaceX)	Ku: 日本	通信
JCSAT-110A	東経110度	SSL1300	2016年12月22日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 日本、インド洋、オセアニア	放送
Superbird-B3	東経162度	MELCO DS2000	2018年4月6日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: 日本、可動ビーム	通信
Horizons 3e	(HTS) ※1 東経169度	Boeing 702MP	2018年9月26日	Ariane 5 (Arianespace)	Ku: アジア、パシフィック C: ゲートウェイビーム	通信
JCSAT-1C	(HTS) ※3 東経150度	Boeing 702MP	2019年12月17日	Falcon 9 (SpaceX)	Ku: アジア、パシフィック、ロシア、HTS Ka: HTS Gateway	通信
JCSAT-17	東経136度	LM2100	2020年2月19日	Ariane 5 (Arianespace)		通信
Horizons-4	※1 西経127度	Maxar 1300	2023年8月3日	Falcon 9 (SpaceX)	Ku: 北米、太平洋	通信

※1 Intelsat社との共同衛星／※2 BSAT社との共同衛星／※3 Kacific社との共同衛星

直近の主なニュースリリース

日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2025年02月05日	スカパーJSATとPlanet Labs PBC230百万ドルの低軌道衛星コンステレーション構築に向けて協業～自社保有による低軌道観測衛星事業に本格参入～
2025年02月05日	連結業績予想の上方修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ
2025年02月05日	役員人事決定のお知らせ
2025年02月05日	当社子会社の組織変更及び役員人事のお知らせ
2025年02月05日	当社子会社による海外子会社設立に関するお知らせ
2025年02月04日	2025年1月末現在 加入件数について
2025年02月04日	不動産取引を宇宙から支援する JAXA発スタートアップ「Penetrator(ペネトレーター)」との業務提携を決定～新たな宇宙ビジネスの共創を目指して～
2025年02月04日	超小型衛星による多様なミッションを推進する「アークエッジ・スペース」と資本業務提携～新たな宇宙ビジネスの共創を目指して～
2025年01月17日	「GLION ARENA KOBE」に災害医療対応衛星通信アンテナを導入～医療機関との連携による災害対策を強化～
2025年01月07日	2024年12月末現在 加入件数について

直近の主なニュースリリース

日付	タイトル（クリックで該当リリースにリンク）
2024年12月18日	一般社団法人放送サービス高度化推進協会が実施する LCB（ローカルコンテンツバンク）実証実験に参画
2024年12月18日	ケーブルテレビ事業者様向け多チャンネル連携サービスの 新規導入局（決定）のお知らせ
2024年12月11日	Orbital Lasers、シードラウンドにおける資金調達を実施
2024年12月11日	沖縄県における「フレッツ・テレビ」及び「スカパー！」「スカパー！プレミアムサービス光」等の提供エリア拡大について～新たに沖縄市、北谷町、北中城村、うるま市の一部においてサービス提供開始～
2024年12月05日	番組コンテンツ単位の視聴が可能となる 新サービス『スカパー！Sチケット』提供開始
2024年12月04日	スカパー！SATとCrypto Garage クリエイター支援を中心とした web3事業推進で基本合意～新たな価値創出を目指し、両社のアセットを連携～
2024年12月03日	2024年11月末現在 加入件数について
2024年11月18日	スカパー！SAT横浜衛星管制センターに「Universal NTNイノベーションラボ」を構築～非地上系ネットワークと5G技術を活用した試験を開始～
2024年11月18日	いつでも、どこでもつながる、革新的な非地上系ネットワーク「Universal NTN」の事業化に向け本格始動～異なる高度の通信インフラを融合し、『圏外のない社会』を目指して～
2024年11月13日	ベルシステム24とスカパー！SAT スカパー・カスタマーリレーションズを合併会社化 生成AIを活用したハイブリッド型のコンタクトセンターの早期実現を推進
2024年11月05日	2024年10月末現在 加入件数について

Space for your Smile

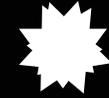
不安が「安心」にかわる社会へ
不便が「快適」にかわる生活へ
好きが「大好き」にかわる人生へ

Space for your Smile には、私たちの目指す世界が描かれています。
宇宙も、空も、海も、陸も、家族が集うリビングも、ひとりの自由な場所も、
これらすべての Space が笑顔で満たされるように。
日常のちょっとした幸せから、まだ見ぬ未来の幸せまで、
ひとりひとりの明日がよりよい日になっていく、そんな世界を創りつづけます。

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJ S A Tホールディングス

広報・IR部



TEL : 03-5571-1515、FAX : 03-5571-1760

E-Mail: ir@skyperfectjsat.co.jp

メール配信サービスはこちらよりご登録ください

<https://www.skyperfectjsat.space/ir/mail/>

IR、企業広報に関するプレスリリース及びイベント等を電子メールでお届けします

X



LinkedIn



YouTube

